

シャングリ・ラよりケリーホテル北京 がデビュー 最新の設備とサービスをご提供いたします

2011年11月



2011年11月19日、シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは2つ目のケリーホテルを北京にオープンいたしました。数百万ドルかけた改装工事、第一期を終え、北京のシャングリ・ラ ケリーセンターホテルはケリーホテル 北京として生まれ変わりました。すでに2011年2月にオープンしている浦東ケリーホテル 上海と共に、ケリーブランドを確立していきます。

新しい施設、アメニティー、サービスを誇るケリーホテル 北京にはコンテンポラリーなクラブルームやスイート、クラブラウンジ、新しくデザインされたロビーや広大なボールルームがあり、さらにケリーズキッチンとケリーズパントリーという2つの新しいダイニングが完成しました。北京のナイトクラブのアイコン的存在、セントロ（バー）は、デザインも新たに生まれ変わり、屋外に新しくビストロ・スタイルのテラスが加わりました。

「ケリーホテルは、次世代のラグジュアリー・ホテルだと考えています！活気にあふれ、気取らず、柔軟性に富む今日のトラベラーは、仕事の時間も遊びの時間も決して手を抜くことはありません。ケリーホテルにはフレッシュでエネルギッシュな雰囲気があり、嬉しい驚きでゲストのクリエイティビティを刺激しながら、リラックスと充電を可能にする時間を提供いたします。また、サービスもマニュアルどおりではなく、熱意あふれるスタッフ一人一人の直感を大切にしています。改装を経て生まれ変わったケリーホテル 北京は、熱意あるおもてなしをスタイリッシュに提供するというケリーホテルの基準を完璧に満たしています。」とシャングリ・ラ インターナショナル ホテル マネージメント リミテッドの代表取締役社長、グレッグ・ドーガンは語ります。

ライフスタイルやエンターテインメントの店舗に「スカイ・ブリッジ」でアクセスできる便利なロケーションのケリーホテル 北京は、北京市ビジネス街の中心にあり、フォーチュン100に選出される世界的企業の中国本社に囲まれています。ホテルの回転ドアを抜けると、すぐにコンテンポラリーな照明デザインを手がけるラスヴィット社特製のクリスタルのシャンデリア、抽象芸術的なカーペット、さらに型破りな水墨作品の飾られたオニキスと白大理石の空間がお客様をお迎えします。

日本人アーティスト丸山晋一による、筆を使用したビデオアートがエレベーターロビーの壁にある高速デジタルループスクリーンに映し出され、レセプションデスクの後方には絹刺繍のパネル



に夢のように美しい風景が描かれた作品が誇らしく掲げられています。向かい側のガラスのアートワークは、数々の賞を獲得しているドイツのアーティスト、ジョセファ・ガッシュ＝ムッヘによるもので、紙のように薄い光学ガラスをらせん状に何層にも丁寧に重ねた官能的かつ力強い作品です。ほんの小さな動きによりガラスに反射する光の屈折が強調され変化していく、まるで命あるもののように見えるアートです。また、リカルド・ライティング製造の、8メートルの大きなシャンデリアがオープン・コンセプトのロビーをモダンに洗練しています。2階の天井からロビーまで下がるこの見事な照明は、長さ18メートルにわたる水の上にかかる階段を横から照らしながら美しく輝きます。

「1999年にオープンして以来、ケリーという名前はこのホテルのアイデンティティの一部でした。新しいブランドとしてのケリーホテルの出発は、当グループにとっても重要な節目となるでしょう。さらに、このホテルでは、グループ初の試みを提供させていただきます。」とケリーホテル 北京の総支配人、ジョンソン・ウォンはコメントしています。「今回、当ホテルでは、シャングリ・ラ グループ初のペーパーレスのチェックイン及びチェックアウトを採用いたしました。さらに精算書に関するデジタル版（コンピューターにて受領）をお勧めしています。また、ケリーホテルの新しいサービスとして、ご到着時に客室のミニバーを無料で提供いたします。」

ケリーホテル 北京の大規模な改築に伴い、新しく2つのダイニングが誕生し、お食事の選択肢が無数に広がります。いずれも日本の著名なデザインチーム、スーパー・ポテト&ソルトがコンセプトを手がけました。ホテルのオールデイ・ダイニングケリーズキッチンには199席のアジア料理レストランです。朝食とランチにはビュッフェを、そしてディナーには100種類近いアラカルトメニューと、それにふさわしいオーガニックワイン、日本酒、生ビール、その他アジア風ドリンクをご用意しています。クッキングステーションに見られる情熱あふれるキッチンの様子は、エネルギー溢れるサービススタッフにも伝わっています。和泉石や木材、粘土、砂壁、和紙など、厳選した天然素材を用いた空間には静けさがあり、ただその場所にいるだけで自然の心地よさを感じていただけます。ゲストはリラックスしながら、自宅にいるようなくつろぎを感じ、なつかしい味や香りに幼少時代へ思いを馳せることでしょう。

ケリーズキッチンの隣にあるケリーズパントリーはグルメ食材が並ぶデリで、のんびりと時間を過ごすにも、軽食、スナックを購入するのにふさわしい場所です。サラダのトッピングやサンドイッチの具を選び自分の好みで選ぶことが可能で、さらに、ケーキに名前を入れるようなサービスもあります。また床から天井まである大きなガラス張りのワインショーケースは、その堂々とした佇まいで人目を惹きつけるでしょう。

数々の受賞を誇るセントロを8年前に作り上げたピュア・クリエイティブが、新たに手を加えることで変化を遂げたセントロには、新しくビストロ・スタイルのテラスが加わりました。より良いサウンドシステムとビジュアルのセットも導入され、バーにはシャンパンボトル用の大型テーブルも設置されました。イギリスの工業デザイナー、トム・ディクソンはガラスの球体を天井から吊り下げ、人々に愛されてきたこのバーに新しい照明で新しい演出を施しました。

美観的な改装の他に、2階にあるグランドボールルームには作り付けのLEDライトをはじめ、グレードアップしたオーディオビジュアル機材が完備されました。柱で視界を遮らない防音構造のボールルームは1,560㎡の広さがあり、1,500人まで収容可能です。

ホテルのクラブフロア（17階から21階）には、新しくリフォームされたクラブルームとスイートがあり、34平方メートルから68平方メートルの広さの客室には最新の設備とアメニティーを備



えています。傾斜付40インチの液晶テレビ、DVDプレイヤー、BOSEのサウンドドック、プラグ&プレイを容易にするオーディオ・ビデオ・USB等マルチソケットのついたセントラルパネル、そしてネスプレッソのコーヒーマーカー及びミニバーは全客室に完備されています。バスルームにはウォッシュレット、バスタブ、レインシャワーヘッドとシェービング用ミラーのついたシャワーブース、さらにテレビとデジタル時計付のバスルームミラーがあります。

新しいブランド、ケリーホテルの誕生を記念して、ケリーホテル 北京では特別なパッケージを2012年2月29日までご提供いたします。パッケージには下記のものが含まれています：

- クラブルームでのご宿泊
- Wi-Fi 使用可能なリムジンによる空港・ホテル間の片道送迎 (空港パトラーサービス含)
- 滞在一回につき300人民元分のダイニング・クレジット (ケリーズキッチン、ケリーズパントリー、海天閣(中国料理)、またはセントロでご利用いただけます)
- 客室内での無料有線インターネット接続または無線 (Wi-Fi) 接続アクセス
- ご到着時のミニバーサービス (ワイン、ハードリカーを除く)
- 8階のクラブラウンジとクラブサービスのご利用

このパッケージの料金は、1泊1室2,288人民元 (15%サービス料別) からで、2連泊よりご利用いただけます。空室状況によりご利用いただけない場合もございますので、予めご了承ください。ゴールドエン・サークル・メンバーは、このパッケージのご利用で3倍のポイントを獲得することができます。


日本でのお問い合わせ、ご予約は、
シャングリ・ラ ワールドワイド リザーベーションセンター 0120 944 162 までどうぞ。

シャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツ

香港を拠点とするシャングリ・ラ ホテルズ&リゾーツは、「シャングリ・ラ」「ケリー」および「トレーダース」のブランド名で現在72のホテルを世界で運営し、総客室数30,000以上を有する、世界有数のホテルグループです。40年に渡り、当グループは「シャングリ・ラ ホスピタリティは人を思う心から」の精神をもってお客さまをおもてなししてきました。現在当グループは、カナダ、中国、インド、マレーシア、フィリピン、モンゴル、カタール、スリランカ、トルコ、イギリスでプロジェクトが進行中です。

ご予約やご質問等は各旅行代理店、または www.shangri-la.com までお問い合わせください。

このリリースに関するお問い合わせ、資料請求は、
シャングリ・ラ ホテル&リゾーツPR代理店、ケントス・ネットワークまでご連絡ください。
Tel : 03-3403-5328 / Fax : 03-3403-5329 / e-mail : info@kentosnetwork.co.jp
Web : www.kentosnetwork.co.jp / Blog : www.kentosnetwork.co.jp/blog

twitter  twitter.com/LUXE_TRAVEL

